



Amazon in New York

北陸銀行 国際部
 ニューヨーク駐在員事務所
 内間 洋子

アメリカでは、クリスマスから新年にかけての「ホリデーシーズン」は、「ギフトシーズン」を意味しますが、昨年のE-commerce（オンライン販売）の売り上げは、前年に比べ18%増だったそうです。

中でもアマゾン（Amazon）は、プライムメンバーシップサービス（会員8,800万人）が成功し、このホリデーシーズン中、全オンライン販売市場の売り上げの半数に迫る45～50%を占め、前年の38%から大きく躍進したそうです。全米に数千店舗を展開する大手コンビニエンスストアのチェーン各店でも、アマゾンをはじめ、eBay、iTunes、レストラン、本、食料品、家電など100種類近くのギフトカードが一年を通して販売されています（右写真）。

昨年、アマゾンは、マンハッタンに既にオープンしているミニストアに続き、広告部門の新しいオフィスを開設することを発表しました。今年中にIT、金融、デザイン、マーケティング関係の部署に2,000人、また、配送センターに2,250人を雇用する予定で、既に雇用されている社員とあわせ、社員総数が6,050人になるそうです。その雇用確約に対し、ニューヨーク州政府も向こう10年間の税額控除に同意しているそうです。

しかし、ニューヨーク州の本拠地は、アマゾンがシアトル市の本社「HQ1」に次ぐ第2本社として北米に建設を予定している「HQ2」の誘致です。実現した場合、5万人の雇用創出と5,000億円の経済効果があるとのことで、現在、カナダ・アメリカ・メキシコから200以上の市が誘致に名乗りを上げており、建設地発表を固唾を呑んで待っているとのことです。

また、アマゾンでは、ニューヨーク市のような大都市の顧客への当日配達を可能にするため、近郊に配送センターを増やしています。昨年オープンしたニュージャージー州の配送センターでは、現在7,500人が雇用されていますが、今後さらに3つの配送センター建設が計画されているとのことです。時給は1,400円程ですが、医療保険（年間一人130万円相当の価値）が提供されているため、大変人気があるそうです。

かつてホリデーシーズン中の長蛇の列が名物だった郵便局やデパートは閑散としており、E-commerceの躍進は、街の風景までも変えたようです。

以上



【店頭に並ぶギフトカード：事務所撮影】

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
 〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
 ((株)人材情報センター内)
 TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565
 E-mail: info@chojo-hokugin.jp